

type HDC	subject デッキクレーン用旋回ベアリング 定期的な摩耗度計測の必要性について	Ref AS-DC08-003(R1)
		Issue : August, 2009 Revise : April, 2019

平素は三菱デッキクレーンをご愛顧頂き有難うございます。

さて表題の件につきまして、デッキクレーン用旋回ベアリングの摩耗進行度を把握し、不慮の事故を未然に防止するため、定期的な摩耗度計測を実施頂きたく以下のとおりお知らせ致します。

1. 方法(ロッキングテスト) :

ロッキングテストとは、ダイヤルゲージを旋回ベアリング下部に設置し、ジブをアッパーリミット(最小リーチ)からローリミット(最大リーチ)まで下げたときに旋回ベアリングがどれだけ傾くか、ダイヤルゲージの変化量で計測し、その結果をもって旋回ベアリング内部の摩耗進行度を確認するものです。

詳細は添付要領書をご参照下さい。

2. 実施頻度： 6ヶ月毎に実施下さい。

別途船級規則に定めがある場合や、摩耗量が許容値上限に迫っている場合は、より高頻度で実施いただくようお願い致します。

3. 許容値：

ダイヤルゲージの変化量が新造時(※)から 3 mm増加した場合はベアリングの交換が必要です。

※新造時の計測データが不明な場合は 0.6 mmを初期値として計算下さい。

4. 長期安定運用のための留意事項：

旋回ベアリングへの過度なストレスを防止し、長期に亙り安全にご使用いただくために以下の留意事項を遵守下さい。

- ・ 定格荷重内で使用する (リリーフ弁の適切な設定、グラブモード(荷重制限)の適切な運用)
- ・ 斜め引き、グラブを振り回す等のラフハンドリングは避ける
- ・ 点検・メンテナンスを確実に実施する (ボルト締結状況の日常的なチェック, 定期的なグリスアップ)

また、弊社技師訪船時に本船船員殿へのロッキングテスト実施要領の説明を行うことも可能です。

旋回ベアリングの交換が必要となった場合は、弊社もしくは弊社修理代理店へお問合せ下さい。長期に亙り安心してご使用いただくためには高品質で信頼性の高い純正部品をお使いいただくことが重要です。

<お問合せ先>

三菱重工機械システム株式会社

船用機械営業部アフターサービスチーム

担当: 田辺、米山、林

TEL : 083-267-7094

E-mail : GUMSC-MHICRANE-AS@mhims.co.jp